
HandyTone-801 設定マニュアル (プロビジョニング版)

Ver1.0.3 2020/12/25 作成
Ver1.0.2 2020/01/09 作成
Ver1.0.1 2019/03/05 作成
Ver1.0.0 2017/07/21 作成



●はじめに

このたびは、HandyTone-801 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用の前には、本書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

下記の製品が全て入っていることをご確認ください。

- ・ HandyTone-801 本体
- ・ AC アダプタ
- ・ イーサネットケーブル
- ・ 取扱説明書

免責事項

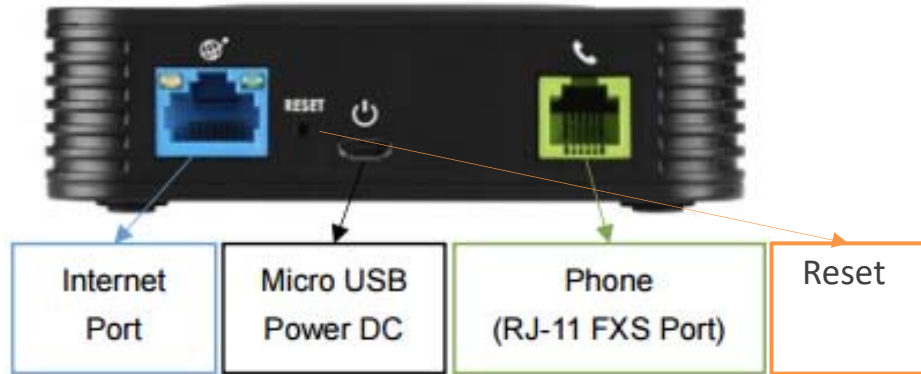
- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ HandyTone-801 は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

●HandyTone-801 とは

HandyTone-801 とは、アナログ電話機を弊社サービスにてご利用いただく際に接続するアダプタです。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。



ポート	説明
Internet Port	付属の LAN ケーブル(イーサネットケーブル)を接続します。
Micro USB Power	付属のAC アダプタを接続します。(5V-1A)
Phone (RJ-11 FXS Port)	アナログ電話機またはアナログFAX電話機を接続します。 ※接続には、アナログ電話機(またはアナログFAX電話機)に付属の電話ケーブル(モジュラーケーブル)を利用してください
RESET	7秒間程押し続けると、工場出荷時の状態にリセットします。

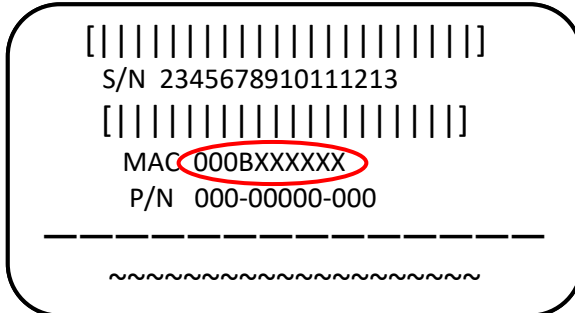
●接続方法

1. アナログ電話機またはアナログFAX電話機に付属している電話ケーブルを、HandyTone-801の「PHONE」とアナログ電話機(アナログFAX電話機)に接続します。
2. イーサネットケーブルを、HandyTone-801の「Internet Port」とブロードバンドルーターに接続します。
3. ACアダプタをHandyTone-801の「Micro USB Power」ポートに接続し、電源コンセントに差し込みます。

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

●MACアドレスの確認方法

端末のMACアドレスは本体裏側のシールに記載されています。
下の例だと[000BXXXXXX]がMACアドレスになります。
シールが見当たらない場合、Web画面からの確認方法でご確認ください。



Web画面からの確認方法

1. Webブラウザで端末に設定されたIPアドレスを入力します。
2. ユーザー名とパスワードを入力し、ログインします。
3. [STATUS]タブに「00:0B:XX:XX:XX:XX」と表示され、MACアドレスが確認できます。

Grandstream Device Configuration

STATUS BASIC SETTINGS ADVANCED SETTINGS FXS PORT

MAC Address: 00:0B:XX:XX:XX:XX
IP Address: 192.168.0.12
Product Model: HT801
Hardware Version: V1.0A Part Number -- 0000000000A
Software Version: Program -- 1.0.3.2 Bootloader -- 1.0.3.1 Core -- 1.0.3.1 Base -- 1.0.3.2
CPE -- 1.0.1.52
Software Status: Running Mem: 17212
System Up Time: 10:19:49 up 15:22
PPPoE Link Up: Disabled
NAT: Unknown NAT

Port Status:	Port Hook	User ID	Registration
	FXS On Hook	0000888999	Registered

Port Options:	Port DND	Forward	Busy Forward	Delayed Forward
	FXS No			

Provision: Not running. Last status : Downloading file from url.
Core Dump: Clean
GR909: [Test Page](#)

All Rights Reserved Grandstream Networks, Inc. 2006-2017

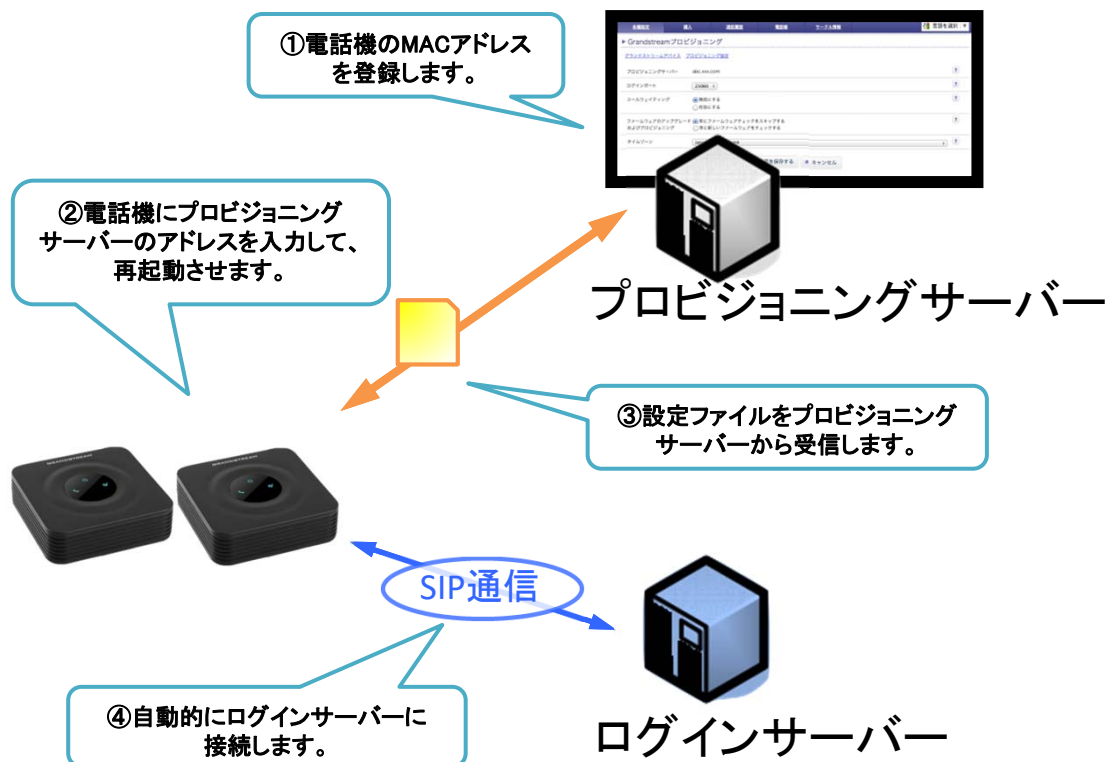
●プロビジョニングとは

当マニュアルはプロビジョニングでの設定方法を記載しています。
プロビジョニングとは、HTTP等を使用してサーバーから端末の設定をできるようにする仕組みです。

プロビジョニングの利点として、

- ・端末にプロビジョニングサーバーのアドレスを登録するだけで、自動で端末の初期設定ができる
- ・登録した複数台の端末の設定を一度に設定できる

などがあります。



●プロビジョニング設定方法

① 管理ページからプロビジョニングページを開きます。

webブラウザから、お客様管理ページを開きます。

サークル管理ページで画面上部の「各種設定」から「Grandstream プロビジョニング」をクリックします。

The screenshot shows the management interface. On the left is a sidebar menu with '各種設定' (Various Settings) selected. Under '各種設定', 'Grandstreamプロビジョニング' is highlighted with a red box. The main content area shows a table of Grandstream devices with columns for status, name, affiliation, pickup group, and extension.

状態	名称	所属	ピックアップグループ	内線
<input checked="" type="checkbox"/>	Grandstream GXP1620	A	Default	201
<input checked="" type="checkbox"/>	Grandstream GXP1400	A	Default	202
<input checked="" type="checkbox"/>	Grandstream GXP1405	A	Default	203

② 端末のアドレスを登録します。

端末に設定するユニークを確認し、「GrandstreamデバイスのMACアドレス」の列に端末の「MACアドレス」を入力します。

The screenshot shows the 'Grandstreamプロビジョニング' page. It features a table for entering MAC addresses for Grandstream devices. The table has columns for '有効' (Effective), 'ユニーク' (Unique), '名称' (Name), '内線' (Extension), 'U種別' (U Type), 'GrandstreamデバイスのMACアドレス' (Grandstream Device MAC Address), 'Grandstreamモデル' (Grandstream Model), and '最終プロビジョニング日時' (Last Provisioning Date/Time). The 'GrandstreamデバイスのMACアドレス' column contains the example value '00:0B:XX:XX:XX:XX'.

有効	ユニーク	名称	内線	U種別	GrandstreamデバイスのMACアドレス	Grandstreamモデル	最終プロビジョニング日時
<input checked="" type="checkbox"/>	0000888888	Grandstream GXP1620	201	<input type="checkbox"/>	00:0B:XX:XX:XX:XX		
<input checked="" type="checkbox"/>	0000999999	Grandstream GXP1400	202	<input type="checkbox"/>	00:08:82:XX:XX:XX	GXP1400	2017-05-08 09:28:05
<input checked="" type="checkbox"/>	0000000000	Grandstream GXP1405	203	<input type="checkbox"/>			

Below the table, there are instructions and buttons. The '変更を保存する' (Save Changes) button is highlighted with a red box.

- 対応機種は、GXP1400 / 1405、GXP1620、HT701、DP750です。
- 各ユニークに割り当てられている電話機のMACアドレスを入力します。
- 電話機が設定ファイルをダウンロードしないようにするには、'有効'のチェックを外します。
- このページから設定を変更できます。また、CSVファイルで設定のダウンロードも可能です。CSVファイルをアップロードし、設定を一括変更できます。

Buttons:

※端末のMACアドレスの確認方法は7ページの「MACアドレスの確認方法」をご覧ください。

入力が完了しましたら、画面の下にある「変更を保存する」をクリックします。

●プロビジョニング設定方法

③ 画面上部にある「プロビジョニング設定」をクリックします。



以下のような画面が表示され、登録した端末の設定を変更することができます。



プロビジョニングサーバー : 端末の「設定サーバパス」に設定するサーバー名が表示されます。

ログインポート : ログインサーバーのポート番号を指定できます。5060,25060のどちらかが選択できます。

コールウェーティング : コールウェーティングを有効・無効を選択できます。

ファームウェアのアップグレードおよびプロビジョニング : 端末のファームウェアの自動更新の有効・無効を選択できます。
常にファームウェアチェックをスキップする …… ファームウェアの自動更新を無効にします。
常に新しいファームウェアをチェックする …… ファームウェアの自動更新を有効にします。

タイムゾーン : 端末の時間設定を変更できます。日本の時間に合わせる場合は「Japan, Korea, Yakutsk」を選びます。

設定が完了しましたら、画面下にある「変更を保存する」をクリックします。

●Webブラウザによる設定

④ HandyTone-801 本体の IP アドレスを確認します。

1. HandyTone-801 に接続された電話機の受話器を上げて「* * *」をダイヤル。
2. 設定が行われていない場合は受話器から「E103E」と英語の音声がかかります。
「#」をダイヤルして受話器から「ENTER A MENU OPTION」という英語音声がかかる事を確認して下さい。
※設定が行われている場合は直接「ENTER A MENU OPTION」と音声がかかります。
3. 「ENTER A MENU OPTION」の後に「02」をダイヤルします。
受話器から英語の音声にて HandyTone-801 の IP アドレスがかかります。
例)ワン・ナイン・ツー、ドット、ワン・シックス・エイト、ドット、ワン、ドット、ツー

⑤ web ブラウザから、設定ページを開きます。

HandyTone-801 と同じネットワークに接続された PC から、インターネットエクスプローラー等 web ブラウザを起動し、先ほど確認した IP アドレスを、以下のように打ち込みます。

[http://\(IPアドレス\)/](http://(IPアドレス)/)

例:192.168.1.2 だったら、<http://192.168.1.2/>

下記 HandyTone-801Web 設定ログイン画面が表示されますので、パスワードを入力し、Login をクリックします。

(初期パスワードは「admin」または「Admin12345!」)

※不正ログインを防止するため、必ず任意のパスワードに変更して下さい。
弊社にて設定出荷した機器のデフォルトパスワードは機器に同梱いたしております。
変更方法が不明な場合、弊社までお問い合わせください。



●Webブラウザによる設定

⑥ プロビジョニングサーバーを入力します。

画面上部にある[ADVANCED SETTINGS] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Grandstream Device Configuration' web interface. The 'ADVANCED SETTINGS' tab is selected. The 'Firmware Upgrade and Provisioning' section is highlighted, showing 'Upgrade Via' set to 'HTTPS' and 'Config Server Path' set to 'プロビジョニングサーバー'. Other fields include 'New Admin Password', 'Confirm Admin Password', '802.1Q/VLAN Tag', 'Layer 2 QoS', 'STUN server is', 'Keep-alive Interval', 'Use STUN to detect network connectivity', 'Use DNS to detect network connectivity', 'Verify host when using HTTPS', 'XML Config File Password', 'HTTP/HTTPS User Name', and 'HTTP/HTTPS Password'. At the bottom, 'Update', 'Apply', and 'Reboot' buttons are highlighted.

Firmware Upgrade and Provisioning:

Upgrade Via: 「HTTPS」を選択します。

Config Server Path: お客様の管理ページのプロビジョニング設定に記載されている**プロビジョニングサーバー**を入力して下さい。プロビジョニングサーバーの確認方法については7ページをご覧ください。

設定が終了したら「Update」「Apply」と順番にクリックし、「Reboot」をクリックします。

再起動が完了後、登録したユニークの情報が端末に設定されます。


●レジストの確認


端末のレジスト(登録)を確認します

webブラウザから、お客様管理ページを開きます。
画面上部の「各種設定」から「ユニーク一覧」をクリックします。

解約 解約	詳細	ユニーク▲▼	状態 ?	名称▲▼	所属▲▼	ブックアップ グループ	着信			発信			U種別 ▲▼	備考
							内線	電話番号	種別	内線	電話番号	種別		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		✓			Default	200	--	--	200	--	--	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0000999999	✗			Default	201	--	--	201	--	--	<input type="checkbox"/>	

上のような画面が表示されるので、対象ユニークの「状態」のマークを確認します。

 ...レジスト(登録)ができています。

 ...レジスト(登録)が失敗しています。クリックすると失敗のステータスを確認することができます。

レジストができていた状態になったら、設定完了になります。

※レジストが失敗している場合、以下の内容をご確認ください。

- ・登録したMACアドレス、端末に入力したプロビジョニングサーバー等に間違いがないかご確認ください。
- ・お客様のネットワーク環境をご確認ください。
- ・お客様環境によってはルータのUPnPや、SIP-NAT等、SIPメッセージを書き換える機能をオフにしないと正常に動作しない場合がございます。
- ・ルータやファイアウォールにおいてフィルタリングを実施している場合には、弊社側ログインサーバとの通信を許可する必要があります。

●弊社サービスで使用する際の注意点

本機で使用するユニークは必ず「alert_infoヘッダー設定」を「無効」にして下さい。有効になっていますと着信ができません。

Webサイトよりユニーク管理ページを開き、以下の順に選択いたします。

[ユニーク設定] - [設定全般] - [alert_infoヘッダー設定] : 「無効」

HT801をFAXアダプタとして利用する場合、通信速度は14400bps、9600bps以下をサポートしています。

スーパーG3は対応していません。

FAX送受信に失敗する場合、ご利用のFAX/複合機の通信速度を14400bps以下に設定してお試し下さい。

改善する場合があります。

●英語音声ガイダンスによる設定確認

1. 受話器を上げます。
2. HandyTone-801 に接続された電話機から、「* * *」と入力します。
受話器から英語で「ENTER A MENU OPTION」という英語音声がかかります。
(「*」をダイヤルすると、メニュー番号 01「DHCP モードまたは固定 IP モード」のステータスを確認できます)
3. メニュー番号を、電話機より入力し設定の確認を行います。
4. 必要に応じて、「9」をダイヤルし、操作を確定します。

メニュー番号	英語音声ガイダンス	操作方法/内容
01	DHCP MODE (DHCP 動的ホスト構成プロトコル・モード) STATIC IP MODE (固定 IP モード)	注意:固定 IP モードは、弊社サービスではサポートしません。
02	IP ADRESS	現在HANDY TONE-801に付与されているIPアドレスの英語音声ガイダンスがかかります。9 をダイヤルしてどちらかを選択します。
03	SUBNET	現在のサブネット・マスクの IP アドレスが英語音声ガイダンスで流れます。
04	GATEWAY	現在のゲートウェイ・アドレスの IP アドレスの英語音声ガイダンスがかかります。
05	DNS SERVER	現在の DNS サーバのアドレスの IP アドレスの英語音声ガイダンスがかかります。
	INVALID ENTRY(入力が誤っています)	自動的にメイン・メニューに戻ります。

●ファームウェアのバージョンアップ（任意）

画面上部 [ADVANCED SETTINGS] タブをクリックします。
画面の中部にある以下の項目をそれぞれ設定します。

Firmware Upgrade and Provisioning:

Upgrade Viaに「HTTP」を選択、Firmware Server Pathに「firmware.grandstream.com」を入力します。

Automatic Upgradeに「Yes, every… minutes」を選択、入力欄に「10080」を入力します。

「Always Check for New Firmware at Boot up」を選択します。

入力が終わりましたら最下部の「Update」をクリックして再起動して下さい。

※ファームウェアのアップデートには数分かかりますので、電源の抜き差しや端末の操作等はお控え下さい。

アップデートがうまくいかない場合は、一度初期化してから再度アップデートをかけて下さい。

初期化方法は当マニュアルに記載されていますのでそちらをご確認下さい。

●端末設定のバックアップ

端末を初期化する際などに設定のバックアップをしたい場合は以下の手順を行って下さい。

画面上部「ADVANCED SETTINGS」タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Grandstream Device Configuration' web interface. The 'ADVANCED SETTINGS' tab is selected. The interface includes the following elements:

- Navigation:** STATUS, BASIC SETTINGS, **ADVANCED SETTINGS**, FXS PORT
- Admin Password:** New Admin Password (with a note: "(purposely not displayed for security protection)"), Confirm Admin Password
- QoS Settings:** 802.1Q/VLAN Tag (0-4094), SIP 802.1p (0-7), RTP 802.1p (0-7)
- Advanced Options:** Disable Voice Prompt (No/Yes), Disable Direct IP Call (No/Yes), NTP Server (ntp.jst.mfeed.ad.jp), Allow DHCP option 42 to override NTP server (No/Yes), Syslog Server, Syslog Level (NONE), Send SIP Log (No/Yes)
- Configuration Actions:** Download Device Configuration (Download), Download Device XML Configuration (Download), Upload Firmware (Upload from local directory), Upload Configuration (Upload from local directory)
- Buttons:** Update, Apply, Cancel, Reboot

Download Device Configuration: 「Download」のボタンを押すと、設定ファイルをテキスト形式でダウンロードできます。デフォルトのファイル名は「config.txt」になります。

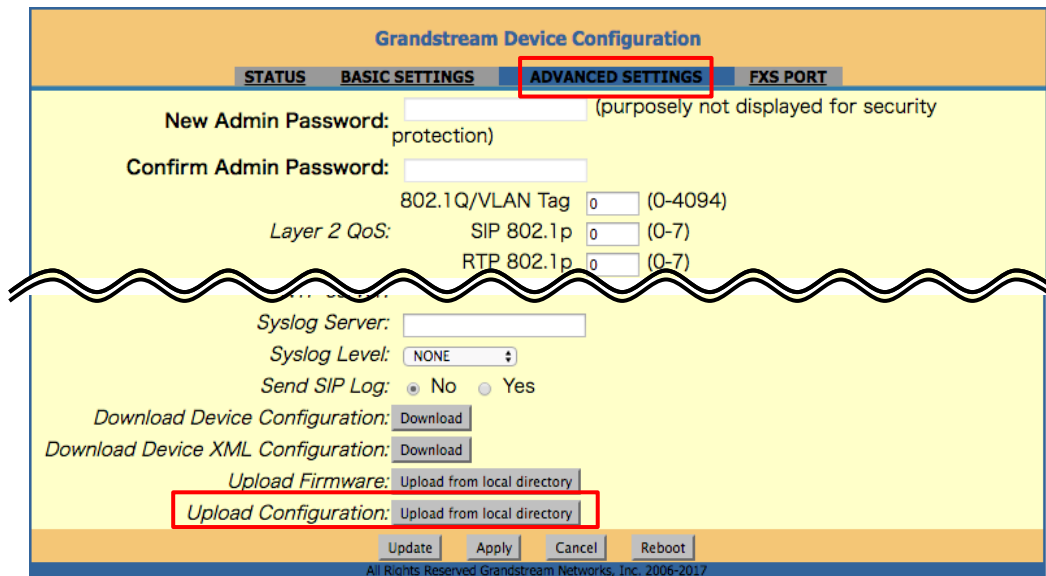
Download Device XML Configuration: 「Download」のボタンを押すと、設定ファイルをXML形式でダウンロードできます。デフォルトのファイル名は「config.xml」になります。

※ダウンロードした設定ファイルにはSIPアカウントのパスワードは含まれていません。復元後はパスワードの入力が必要になります。

●バックアップの復元方法

[端末設定のバックアップ]手順でダウンロードした設定ファイルで復元させる場合は以下の手順を行って下さい。

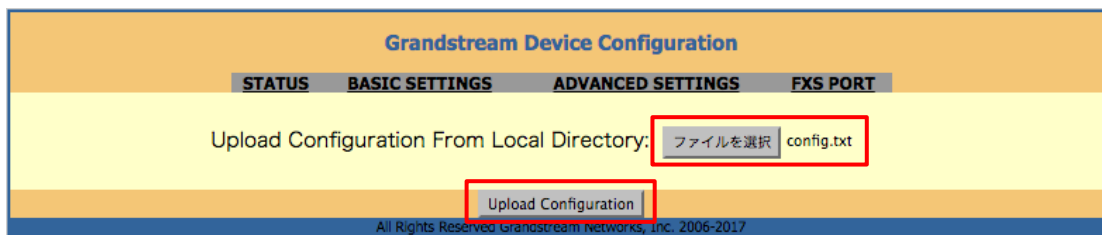
画面上部「ADVANCED SETTINGS」タブをクリックします。



The screenshot shows the 'Grandstream Device Configuration' web interface. The 'ADVANCED SETTINGS' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tab, there are several configuration fields: 'New Admin Password', 'Confirm Admin Password', '802.1Q/VLAN Tag', 'Layer 2 QoS', 'SIP 802.1p', 'RTP 802.1p', 'Syslog Server', 'Syslog Level', and 'Send SIP Log'. At the bottom of the configuration area, there are buttons for 'Download Device Configuration', 'Download Device XML Configuration', 'Upload Firmware', and 'Upload Configuration'. The 'Upload Configuration' button is highlighted with a red box. Below the buttons are 'Update', 'Apply', 'Cancel', and 'Reboot' buttons. The footer of the page reads 'All Rights Reserved Grandstream Networks, Inc. 2006-2017'.

Upload Configuration : 「Upload from local directory」のボタンを押します。

以下のような画面に移動します



The screenshot shows the 'Grandstream Device Configuration' web interface. The 'ADVANCED SETTINGS' tab is selected. The 'Upload Configuration From Local Directory' dialog is displayed, showing a file selection button labeled 'ファイルを選択' and the filename 'config.txt'. Below the dialog, the 'Upload Configuration' button is highlighted with a red box. The footer of the page reads 'All Rights Reserved Grandstream Networks, Inc. 2006-2017'.

「ファイルを選択」のボタンをクリックして、[端末設定のバックアップ]手順でダウンロードしたファイルを選択します。

「Upload Configuration」のボタンを押すと選択したファイルの設定が反映されます。

※ダウンロードした設定ファイルにはSIPアカウントのパスワードは含まれていません。
復元後はパスワードの入力が必要になります。

●安全にお使い頂くために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。
注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



警告

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。



警告



煙が出たり、変なおいがするときは電話機コードを抜く
そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



分解・改造しない
火災・感電・故障の原因となります。



開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない
万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



内部に水や異物を入れない
水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。



故障や異常状態のまま使用しない
火災・感電の原因となります。



雷が発生したときは、本機に触れない
感電の原因となります。



風呂やシャワー室では使用しない
火災・感電・故障の原因となります。



本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。



水などで濡らさない
本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



注意



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。



直射日光の当たるところに置かない
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



湿気やほこりの多いところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。



極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない
故障の原因となることがあります。



不安定な場所や振動の多いところに置かない
落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。



受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う
受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

●故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは、弊社まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、弊社サポートまで、ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。
発信は出来るが、着信が出来ない	ディスプレイ上に「DoNotDisturb」が表示されていたら、ディスプレイ表示「-dnd」をソフトボタンを押して非表示にしてください。	

●初期化方法

**初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。
初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。**

1. Web ブラウザから、設定ページを開き、ログインします。
2. 画面上部 [BASIC SETTINGS] タブをクリックします。

3. Reset Type:「Full Reset」を選択しすぐそばの「Reset」ボタンを押します
4. 機器が再起動され、設定が初期化されます。